



2021年度 東海大学 家族看護研究会

家族看護学研究会では家族看護を
様々な理論やツールを用いて分析しています。
今回は渡辺式家族アセスメントモデルを
用いて分析していきます。



事例紹介

重症仮死、多発奇形で出生した児。
気管切開術の決定をめぐり家族と医療者の意見が対立。
40歳代で妊娠先行型結婚の父母は、育児参加について
喧嘩が絶えず、退院に向けて困難を要した。
看護師はどのような関わりができるのだろうか。



プロフィール：櫻井大輔先生（家族支援専門看護師）
国際医療福祉大学卒業後、神奈川県立足柄上病院に入職
東海大学大学院で家族看護学を専攻し、家族支援専門看護師
を取得。2018年から東海大学医学部看護学科助教となり、
各地で家族看護教育の普及に努めている。

【日付】 2021年7月25日 日曜日

【時間】 14：00～17：00

【会場】 zoomによるオンライン開催



参加ご希望の方は右上QRコードよりお申し込みください

問合せ先：0463-90-2067（直通）家族看護学研究室 担当：井上
ホームページ：<http://kazokuns.ihs.u-tokai.ac.jp>
メールアドレス：rinoue@is.icc.u-tokai.ac.jp

